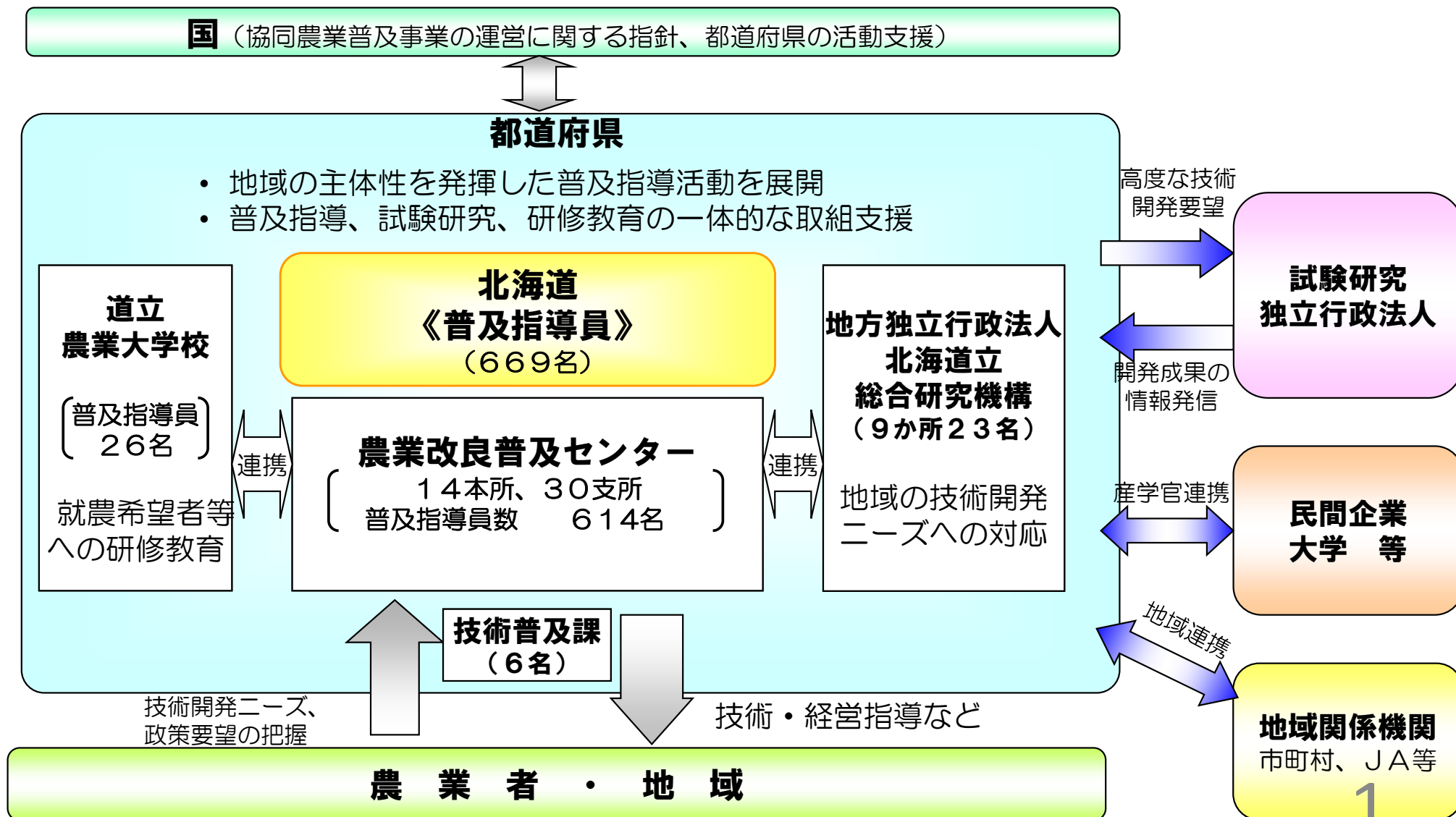
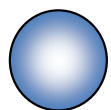


北海道における協同農業普及事業の実施体制

- 道では、普及指導員を農業改良普及センター、地方独立行政法人北海道立総合研究機構（駐在）、道立農業大学校等に配置し、関係機関・団体との連携のもと地域の主体性を発揮した普及指導活動等を展開。

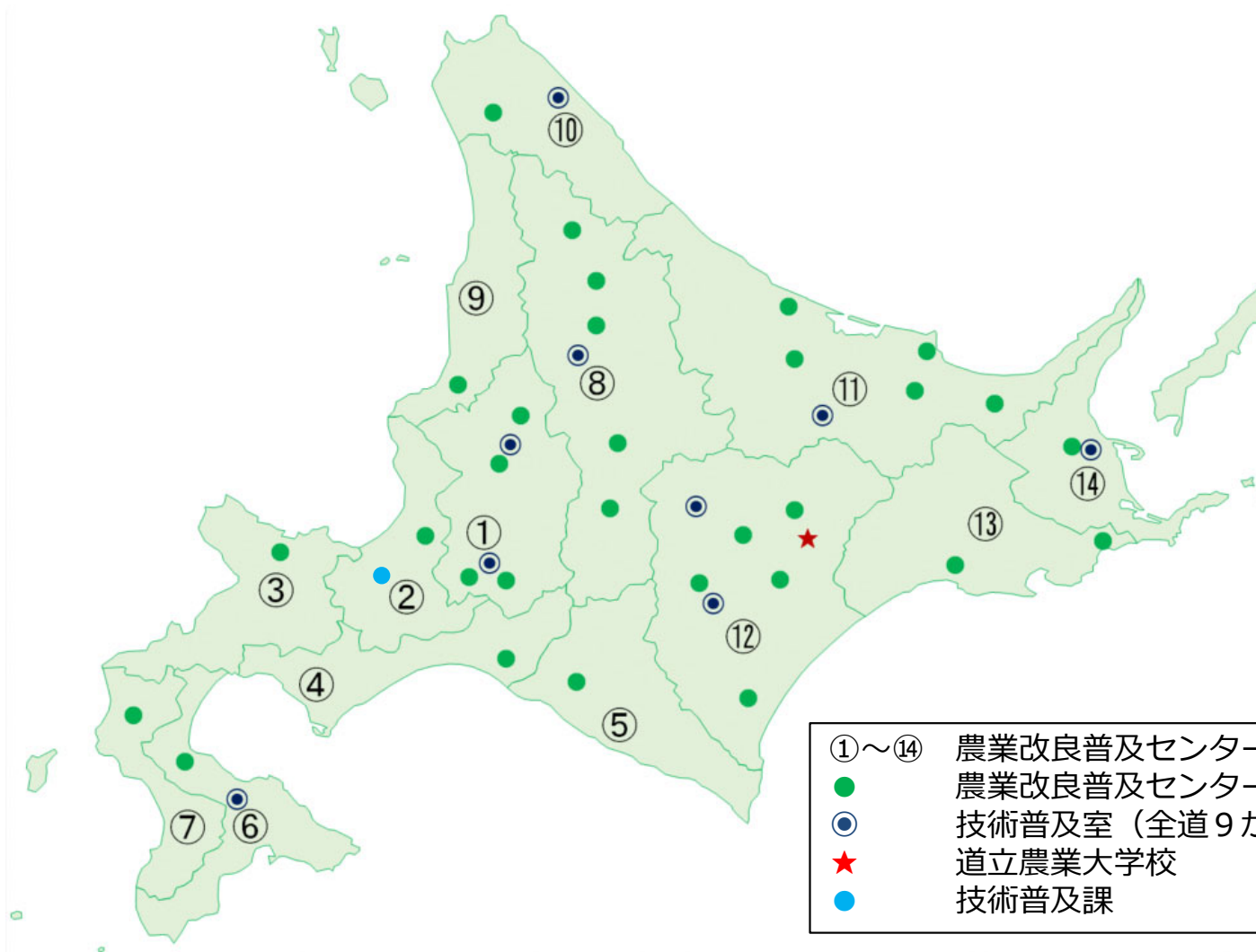


※普及指導員には、普及職員（資格なし）を含む。



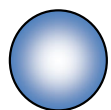
農業改良普及センターの設置と普及指導員の配置

- 北海道農業改良普及センター条例に基づき、総合振興局・振興局の区域ごとに14の農業改良普及センター本所及び30の支所を設置。
- 道の実施方針に基づき、普及センター、農業大学校、技術普及課及び技術普及室に普及指導員を配置。
- 北海道では行政や研究とのジョブローテーションは行わず、普及指導員は継続して普及事業に従事。



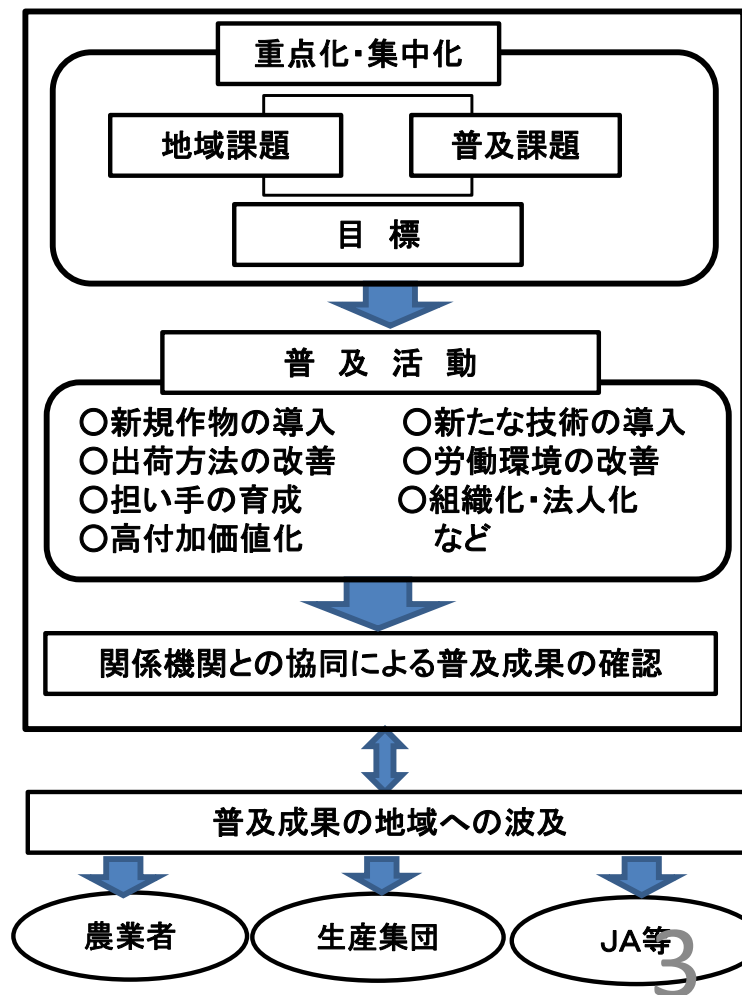
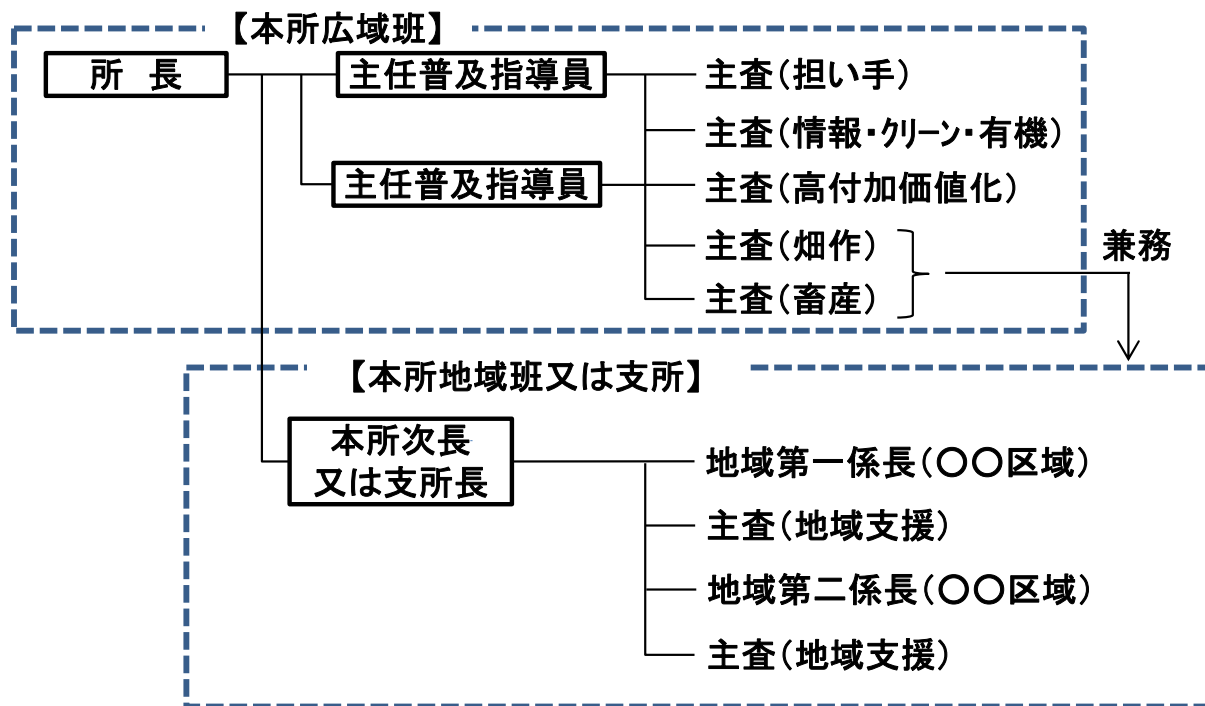
本所 (①～⑭)	支 所 (●)	活動 区域数
空知	空知南東部、空知南西部、中空知、北空知	9
石狩	石狩北部	4
後志	北後志	5
胆振	東胆振	3
日高	日高西部	3
渡島	渡島北部	4
檜山	檜山北部	2
上川	富良野、大雪、士別、名寄、上川北部	12
留萌	南留萌	2
宗谷	宗谷北部	2
網走	清里、網走、美幌、遠軽、紋別	11
十勝	十勝東部、十勝東北部、十勝北部、 十勝西部、十勝南部	10
釧路	釧路東部、釧路中西部	3
根室	北根室	3
14	30	73

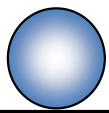
- ①～⑭ 農業改良普及センター本所（全道14か所）
- 農業改良普及センター支所（全道30か所）
- ⊙ 技術普及室（全道9か所）
- ★ 道立農業大学校
- 技術普及課



農業改良普及センターにおける普及指導活動

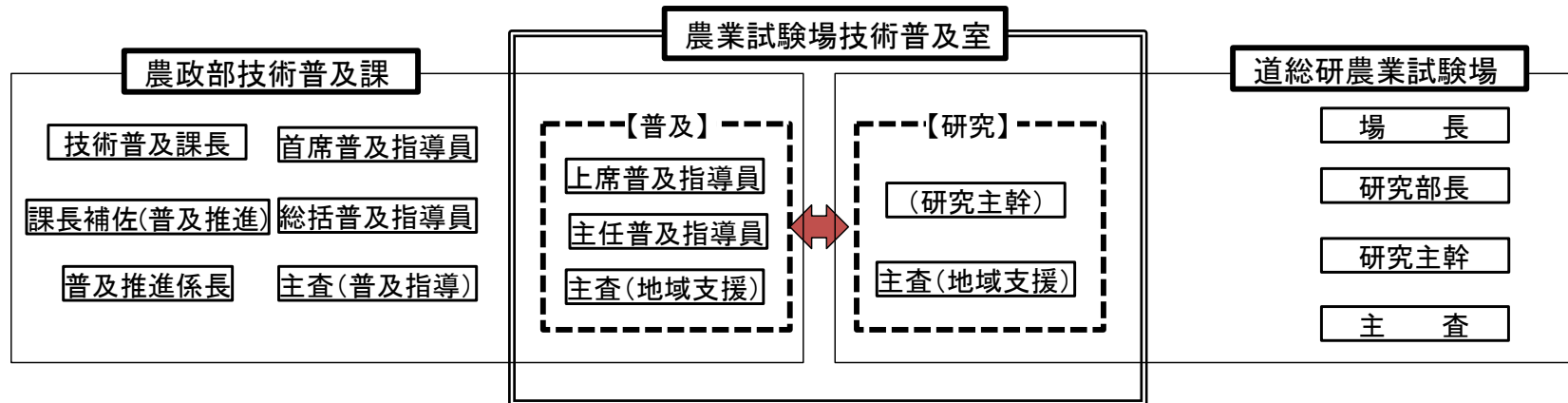
- 普及センターでは、農業関係及び生活関係の指導支援事項や地域活動と広域活動を一体的、総合的に整理した「普及活動計画」(おおむね5か年)を策定
- 地域班では、地域係(73係)ごとに地域課題や普及課題を重点化した活動を展開し、その成果を関係機関と連携し、地域全体へ波及する普及活動を展開
- 広域班では、高度で多様な課題解決を迅速に行うため、広域的に専門活動を展開。また、地域対応力強化のため、必要に応じて地域班を兼務





試験研究機関との連携

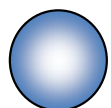
○ 各農業試験場の技術普及室に普及指導員を配置、試験場との密接な連携のもと、普及センターの支援等を行っている。



【主な役割】

- 専門項目に関する普及センターの支援
- 調査研究の実施
- 農業技術情報の普及センターや地域への提供
- 農業試験場における普及指導員の研修
- 北海道農業試験会議への参画
- 技術体系化チームの運営

区分	技術普及室	担当区域
道央・道南ブロック	農業研究本部技術普及室	空知、石狩、後志、胆振、日高
	道南農業試験場技術普及室	渡島、檜山
	花・野菜技術センター技術普及室	空知(全道) 研究は技術研修Gの人員
道北ブロック	上川農業試験場技術普及室	上川、留萌
	酪農試験場天北支場技術普及室	宗谷
道東ブロック	十勝農業試験場技術普及室	十勝
	北見農業試験場技術普及室	オホーツク
	酪農試験場技術普及室	釧路、根室
	畜産試験場技術普及室	十勝(全道)



普及指導員の専門項目

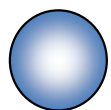
○ 専門性を活かした組織的な普及活動を行うため、普及指導員は「専門項目」を設定し、専門項目ごとに普及活動を実施している。

専門項目（作目）

- 作物 稲作
 畑作
- 園芸 野菜
 果樹
 花き
- 畜産 乳牛・飼料作物
 肉用牛

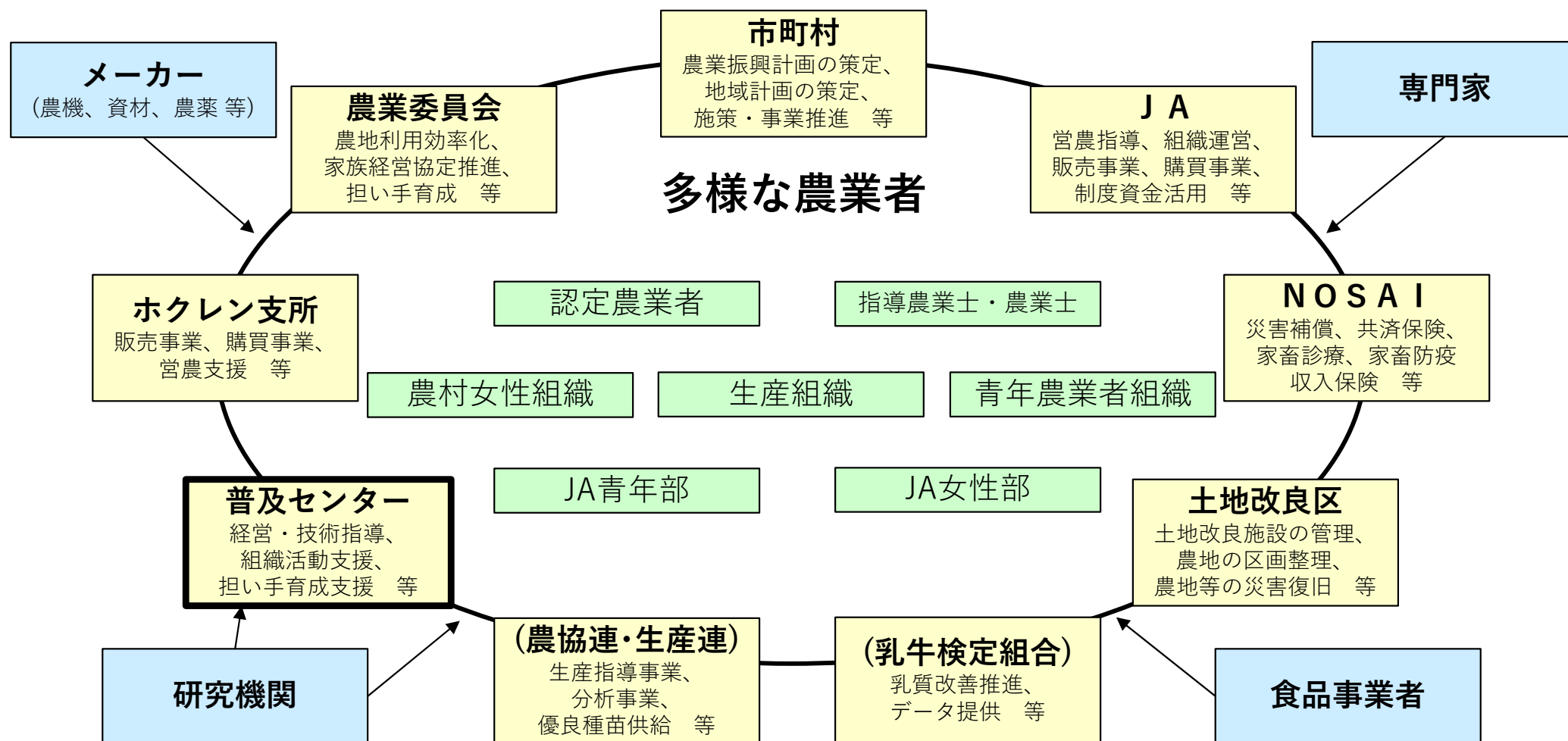
専門項目（作目横断）

- 土壌・肥料
- 植物保護
- 高付加価値化
- 経営・労働



地域農業の連携体制

- 市町村や農業委員会、農業協同組合等の地域の関係機関・団体と連携しながら、普及センターはチームの一員として、農業者が自ら取り組む農業経営や農村生活の改善、地域が主体的に取り組む担い手の育成・確保などを支援している。



持続的な農業経営の確立